

第17回群馬県図書館大会 第2分科会

オープンサイエンス, 次期JAIRO Cloudの状況に ついて

1. オープンサイエンス

オープンサイエンスとは何か？

- 「基本的にはデジタル時代に鑑み，これまで以上にオープンで，多様な可能性をもって行うことができるようになった研究活動の諸側面を総称」／「極めて曖昧で何を指しているのか漠然として」いる

—国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター「オープンサイエンス概要」 <https://rcos.nii.ac.jp/openscience/>

- 「研究データのオープン化の理念と，従来の論文のオープンアクセス化の理念を包含する（中略）概念」／「定義はまだ明確には定まって」いない

—東京大学附属図書館「オープンアクセスハンドブック（第2版）」 <http://hdl.handle.net/2261/72694>

FAIR原則

- データの適切な公開方法を示す原則の1つ。
 - ① To be FINDABLE (見つけられる)
 - ② To be ACCESSIBLE (アクセスできる)
 - ③ To be INTEROPERABLE (相互利用できる)
 - ④ To be RE-USABLE (再利用できる)

<https://www.force11.org/group/fairgroup/fairprinciples>

- オープン化の焦点は、研究成果である発表論文のオープンから、その前段階である研究データに移ってきている。

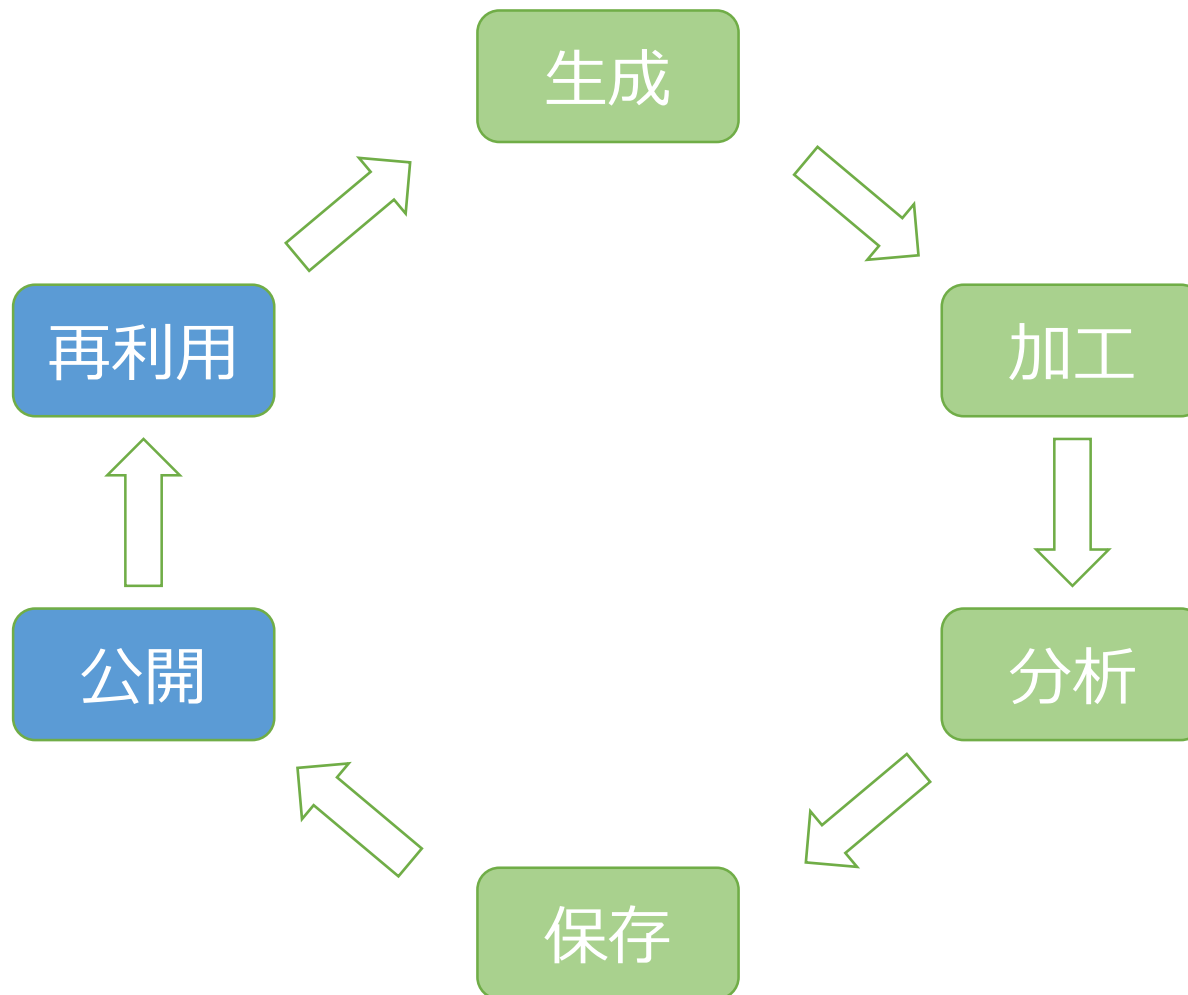
研究データ公開の意義①：

研究公正

- 研究データの公開が求められる大きな理由の1つは、研究の公正さを保つこと。研究データを公開することで、研究成果を検証し、研究を再現可能とする。
- 既に、研究費の助成の条件として研究データの適切な公開を掲げている機関も出てきている。

研究データ公開の意義②：

研究データのライフサイクル



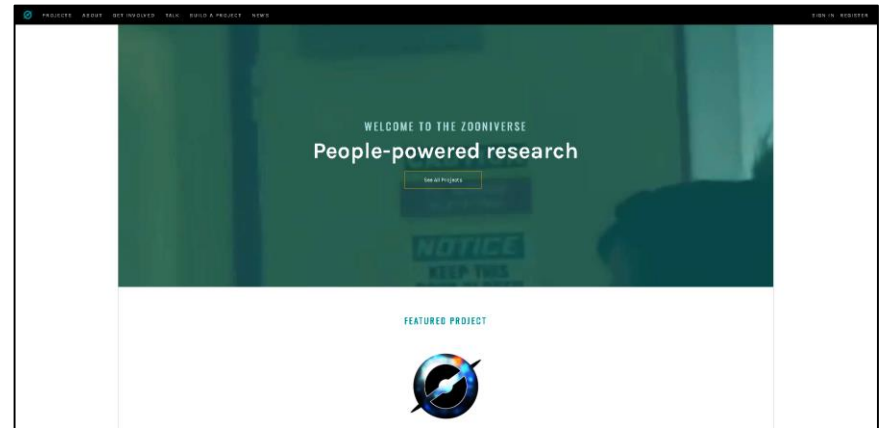
市民科学（シチズンサイエンス）

- 情報源・資金源のオープン化により，市民が学術研究に関わる機会が拡大。
 - オープンアクセス
 - オープンデータ
 - クラウドファンディング
- 担い手が増える／研究の裾野が広がる
- 非専門家が参加しやすいように整備することで，専門家も研究がしやすくなる。

市民科学の事例



みんなde翻刻（日本）



Zooniverse（アメリカ）

教育活動のオープン化

- MOOCsやOpen Educational Resourcesの発展
- オープンアクセスデジタル教科書

coursera 検索 何を学習しますか? 企業用 ログイン 参加は無料

成功へのコース
世界最高の大学や企業のオンラインでのコース、証明書、学位でスキルを構築します

参加は無料

Explore online courses from 190+ leading universities and companies

ILLINOIS Duke Google M IBM Imperial College London Stanford Penn

Courseraで目標を達成する

Learn the latest skills
Get ready for a career
Earn a certificate or degree
Upskill your organization

Coursera (アメリカ)

図書館に期待されていること①

- 研究データの適切な管理
 - 実際にデータ管理の依頼が来ている事例も既にあり。時には数百GB～数TBのデータ管理を頼まれることも
- 研究データの適切な公開・流通促進
 - 流通促進には「機械に読んでもらう」ことが重要。適切なメタデータ付与・キュレーションが不可欠
 - 教員の中には、自分が使わなかった／使えなかったデータを公開し、そのデータを使って研究してもらうことで新たな研究成果が生まれることを期待している人も

図書館に期待されていること②

- オープンな研究の環境整備
 - 情報インフラの構築や維持にはある程度のノウハウがあり、重要な役割を果たすことが見込める

JPCOARの活動①

JPCOARスキーマガイドライン
JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索

スキーマ説明 改訂履歴 FAQ 問い合わせ 関連サイト

ホーム

JPCOARスキーマは、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）が策定した新しいメタデータ規格です。日本の機関リポジトリのメタデータの国際的な相互運用性を向上させ、日本の学術的成果の円滑な流通を図ることを目的としています。

このウェブサイトでは、JPCOARスキーマの説明（ガイドライン）やFAQ（よくあるご質問）といった、JPCOARスキーマに関する各種情報を提供していません。

XMLスキーマ定義と項目一覧（Excel、PDF）は、<https://github.com/JPCOAR/schema> をご覧ください。

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

© オープンアクセスリポジトリ推進協会

コンテンツの流通促進

JPCOAR Newsletter
CoCOAR No. 09
December 2019

発行：オープンアクセスリポジトリ推進協会
jpcoar@ii.ac.jp

オープンアクセスウィーク2019

2019年10月21日～27日はオープンアクセスウィークでした。今年のテーマは、“Open for Whom? Equity in Open Knowledge”（誰のためのオープン化？ オープンな知識における平等を考えよう）。オープン化がフェルトに近づくほどに、その活動の平等性、あらゆるコミュニティの参画に目を向けることの重要性が覆われました。今年も各地でオープンアクセス民衆のための様々な取り組みが行われました。展示を中心に一部をご紹介します。



北見工業大学図書館
（盛岡県青森市）

時代劇で学ぶ
オープンアクセス

小田高科大学附属図書館
（兵庫県三木市）

東北大学附属図書館北青葉山分館
（仙台市）

二つのためのオープンアクセス

Open for Whom? Equity in Open Knowledge

各種関連グッズも毎年充実！ ぼう炭、案内説明用冊子など、JPCOAR特設サイトからダウンロード。

横浜国立大学中央図書館

JPCOAR オープンアクセスウィーク2019特設サイトで、JPCOARが制作したオリジナルポスターやリポジトリ担当者の皆さんへのインタビュー記事を掲載し、英語での発信も行いました。ポスターの自然園へのアレンジ版もたくさんアイデアを頂きました。

皆様をご提供いただきました皆様、インタビューに快く応じてくださった皆様、ありがとうございました！

International Open Access Week : <http://www.openaccessweek.org/>

JPCOAR Newsletter & CoCOAR No. 09 (12)

広報誌の発行

JPCOARの活動②



研修会の開催

研究データ管理サービスの設計と実践

RDM Service: design and practice

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会



トレーニングツールの開発

JPCOAR研究データタスクフォース 教材「研究データ管理サービスの設計と実践」
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000107/>

JPCOARウェブサイト : <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

2.次期JAIRO Cloud

次期JAIRO Cloudへのリプレイス

- JAIRO Cloudは550以上の機関にリポジトリ環境の提供を行っているクラウドサービス。2020年10月、次期システムへの移行を予定している。
※次期システムへは自動移行
- 研究成果の「共有」から「活用」を目指す。
- 2019年9月～12月にJPCOARコンテンツ流通促進作業部会を中心として移行実証実験を行い、新環境・機能の検証やブラッシュアップをした。

次期JAIRO Cloudの特徴① 操作性の向上

Flow Name: Registration Flow

Flow Update: 2019-10-30

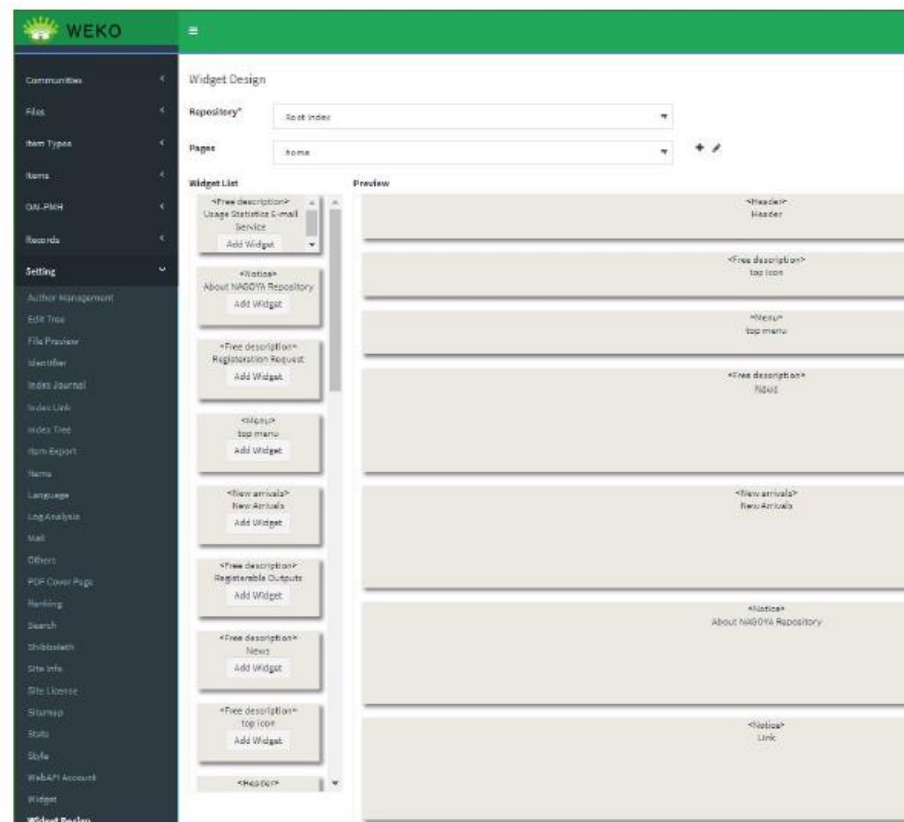
Flow Author: info@inveniosoftware.org

Flow Status: Available

Action List

Order	Name	Action Role	Action User	Change Order
1	Start	<input type="text"/>	info@inveniosoftware.org	↑ ↓
2	Item Registration	<input type="text"/>	info@inveniosoftware.org	↑ ↓
3	Approval	<input type="text"/>	info@inveniosoftware.org	↑ ↓
4	End	<input type="text"/>	info@inveniosoftware.org	↑ ↓

ワークフローによるアイテム登録機能
(画面はアイテム登録の様子ではなく、ワークフロー設定の様子)



ウィジェットによる画面デザイン機能

次期JAIRO Cloudの特徴②

多様なコンテンツへの対応

- 柔軟なメタデータ表現を確保
- 大容量のアップロード・ダウンロード機能
- JPCOARスキーマへの対応

次期JAIRO Cloud説明会

- 日時：2020年3月6日（金）13:00～16:30
- 会場：国立情報学研究所12F
- 参加費：無料
- 動画配信&公開：あり（予定）

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=49#_href_422

參考資料

- 杉田,茂樹(2019)「欧州研究大学連盟「オープンサイエンスが大学に果たす役割」を読む」
<http://hdl.handle.net/10091/00021786>
- 小野,英理(2019)「オープンサイエンス的市民協働のために大学ができること」
https://www.nii.ac.jp/sparc/event/2019/pdf/20191024_1.pdf
- 林,正治(2018)「次期JAIRO Cloud(WEKO3)の開発状況」
https://www.nii.ac.jp/event/upload/libfair2018_forum2_3.pdf
- 前田,朗(2019)「新JAIROCloud(weko3)への移行実証実験報告」
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000182/>